

裁判員裁判の在り方を考えるシンポジウム

「刺激証拠」の イラスト化 隠される真実。

今、日本の裁判員裁判制度では、
裁判員の心理的負担軽減という理由で、
遺体写真等を「刺激証拠」とし、イラストに
置き換えた資料が証拠として
採用されています。

被害状況を判断し、
公正な判決を導くために、
真実を示す証拠といえるのでしょうか。

開催日時 **2025 11.15** (土)
13:00～(受付開始12:00)

会場 **ドイツ文化会館OAGホール**

参加無料 -要事前申込-

主催 犯罪被害者支援弁護士フォーラム(VSフォーラム) 日本法医学病理学会

事実をきちんと見て
判断してほしいかった。

御遺族の悲嘆

写真を見て
判断したかった。

裁判員のつぶやき

イラストで
死因は分からない！

法医学者の困惑

写真のイラスト化って
証拠偽造では？

メディアの疑問

裁判員裁判の在り方を考えるシンポジウム

「刺激証拠」のイラスト化 隠される真実。

今、日本の裁判員裁判制度では、裁判員の心理的負担軽減という理由で、遺体写真等をイラストに置き換えたり、血痕を緑色で記したような資料が正式な証拠として採用されています。被害状況を判断し、公正な判決を導くために、真実を示す証拠といえるのでしょうか。

開催日時

2025 **11.15** (土)
13:00~(受付開始12:00)

参加無料
-要事前申込-

お申し込みはこちらの
▼二次元コードから▼



※ご参加には事前にお申し込みが必要です。上記サイトに必要事項をご記入ください。

会場アクセス

ドイツ文化会館 OAGホール

東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館

会場には駐車場がありませんので、
公共交通機関のご利用をお勧めします。
お車で越えの際は付近の
有料駐車場を御利用ください。

連絡先

高橋正人法律事務所 東京都千代田区麹町3-10-2 シティスパイア半蔵門1001号室

TEL 03-3261-6181



- 青山一丁目駅
(東京メトロ銀座線・半蔵門線、都営地下鉄大江戸線)
4番出口より徒歩5分
→4番出口を出て青山通りを赤坂見附方面へ
→草月会館と高橋是清記念公園の間の道を右折して、100m
- 赤坂駅(東京メトロ千代田線): 徒歩13分
- 赤坂見附駅(東京メトロ銀座線・丸ノ内線): 徒歩13分

第1部 基調講演など



椎橋隆幸 教授
中央大学名誉教授



秋野公造 参議院議員
参議院議員(福岡県選出)
日本法医学病理学会名誉会員



Dr. Laurent
Lafleur
ローレント, ラフロイル 判事
ドイツ連邦共和国
ミュンヘン上級地方裁判所判事



Prof. Matthias,
Graw
マティアス, グラフ 教授
ドイツ連邦共和国
ミュンヘン大学法医学研究所主任教授



Dr. Lisa
Eberle
リサ, エーバーレ 博士
ドイツ連邦共和国
ミュンヘン大学法医学研究所

VTR出演

被害者ご遺族

詳説: 杉本吉史 弁護士
VSフォーラム共同代表

(ほか)

第2部 パネルディスカッション

パネリスト



十時(横田)希代子 弁護士
弁護士・元検察官
(岐阜地方検察庁検事正
東京高等検察庁総務部長等)



近藤稔和 教授
和歌山県立医科大学
法医学講座教授
日本法医学病理学会理事長



小川原優之 弁護士
日弁連死刑廃止及び関連する
刑罰制度改革実現本部
事務局長

上谷さくら 弁護士 VSフォーラム事務次長

(ほか)

コーディネーター 高橋正人 弁護士 VSフォーラム事務局長